

大情熱

People with the passion of Osaki

北に住む人たちに良質な音楽を届けたい。大崎市、石巻市の音楽関係者が立ち上げたクラッシック音楽のシリーズコンサート「石のスーププロジェクト」は、今年六月のオープニング・ガラコンサートを皮切りに来年一月まで、県北出身で海外や東京で活躍する演奏家を迎えて、両市で計八回開催されます。プロジェクトの実行委員長を務める友川廣人さんは、高校教師を定年退職するまで、合唱、吹奏楽やマンドリンの指導を通じて、多くの演奏家を育ててきました。「教え子が活躍しているのはかけがえのない財産」とう友川さん。コンサートには、そんな世界に通じる実力のある教え子たちが、ソリストとして駆けつけ、演奏を披露します。

県北出身の音楽家は多いのですが、これまで地元では演奏する機会が少なく、あまり知られていないのが実情でした。以前から合唱団の指導やオーケストラコンサートなどの開催も手がけてきた友川さんですが、教え子で北日本文化事業協会理事長の葛西孝之さんの提案を受け、このプロジェクトがスタートしました。

「石のスープ」はポルトガル民話。飢えた旅人が「この石を煮るとおいしいスープができる」と村人の好奇心をくすぐって野菜や肉を持ち寄らせ豪華なスープを完成させてしまった。この地域ならではのあいしいスープを、友川さんの石で皆さ

共に育てたい 演奏家と聴く人で 大崎ならではの 音楽文化を

石のスーププロジェクト サマーコンサート

日 時 8月22日(金) 18時30分開場、19時開演
場 所 大崎市民会館
曲 目 L・モーツアルト「おもちゃの交響曲」

共演 大崎市の子どもたち

ハイドン「Tp.協奏曲」

独奏 安藤友樹(石巻市出身)

ブームス「交響曲第2番 二長調」

演 奏 チケット
チケット取扱: サトー楽器(☎ 23-3628)、サンリツ楽器古川店(☎ 22-4024)、ソマキ(☎ 23-3331)ほか
サマーコンサートでは小中学生に「ご招待カード」を用意しました。持参すると無料で入場できます。入手方法はチケット取扱店にお問い合わせください。

各コンサートの日程や詳細は北日本文化事業協会ホームページ(<http://e-vnjp.jp/>)をご覧いただけます。
◆ 石のスープ・プロジェクト実行委員会(鈴木)☎ 22-1297



古川音楽鑑賞協会代表、石のスーププロジェクト実行委員長

友川廣人さん(古川地域)

Very interesting in Osaki

津興味

鹿島台地域
竹谷地区発

歴史ある用水路の 灯ろう流しと竹灯ろう



このコーナーでは、「大崎ライフ」をより楽しむための物や技、場所などを毎月紹介していきます。

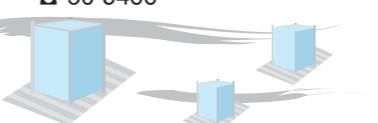


▲現在の表堀。昔は、歯磨きや洗顔のほか、飲料水や洗濯用水、食器や野菜を洗ったり、米の研ぎ水に使うなど、地域の人たちの生活を支えてきました。現在でも、農業用水や防火用水として利用されています。

竹谷とうろう祭り

◆日時 8月20日(火)
18時30分開始
◆場所 鹿島台竹谷地区表堀

問 竹谷とうろう祭り実行委員会
☎ 56-3400



夏のころ、鹿島台地域竹谷地区を流れる用水路では、夜を彩る美しい灯ろう流しと竹灯ろうを見ることができます。この用水路は約三百七十年前から存在し、生活道の間を流れる竹谷地区の象徴的な存在として、人々の生活と密接につながっていました。地域の人たちからは「表堀」と呼ばれていて、堀向かいの家に行き来する際に渡る一枚の稻井石が架けられ、普通の水路にはない風情を感じさせます。

南北に約一キロメートルの長さがある表堀のところどころには、「カドッパ」という洗い場があります。井戸水や上水道が使えるようになるまでは、かどッパで歯を磨いたり顔を洗うなど、生活用水として表堀の水を使用していました。毎日のように近所の人たちが顔を合わせるので、あいさつや情報交換などが自然に行われ、地域の交流の場や憩いの場としても大切な役割を果たしていました。

夏の終わりの情緒を感じ、幻想的な光を放つ灯ろうが人々を魅了します。夏の終わりの情緒を感じ、幻想的な光を放つ灯ろうが人々を魅了します。岸に千基の竹灯ろうが設置され、約百三十基の灯ろうが水の上をゆっくり流れます。近年は、行政区内外だけでなく市内外から見物客が訪れます。先人たちが築いた文化遺産とともに、この「表堀」を活用して開催されるのが、夏の風物詩「竹谷とうろう祭り」です。

灯ろうは、竹谷地区の人たちが自分で作ったものです。表堀の両岸に千基の竹灯ろうが設置され、約百三十基の灯ろうが水の上をゆっくり流れます。近年は、行政区内外だけでなく市内外から見物客が訪れます。先人たちが築いた文化遺産とともに、この「表堀」を活用して開催されるのが、夏の風物詩「竹谷とうろう祭り」です。

場としても大切な役割を果たしていました。

そのほか、子どもたちの遊び場となり、フナなどの雑魚とりや水鉄砲などで楽しんだり泳いだり、昔はここで泳ぎ方を覚える子どもがほとんどでした。